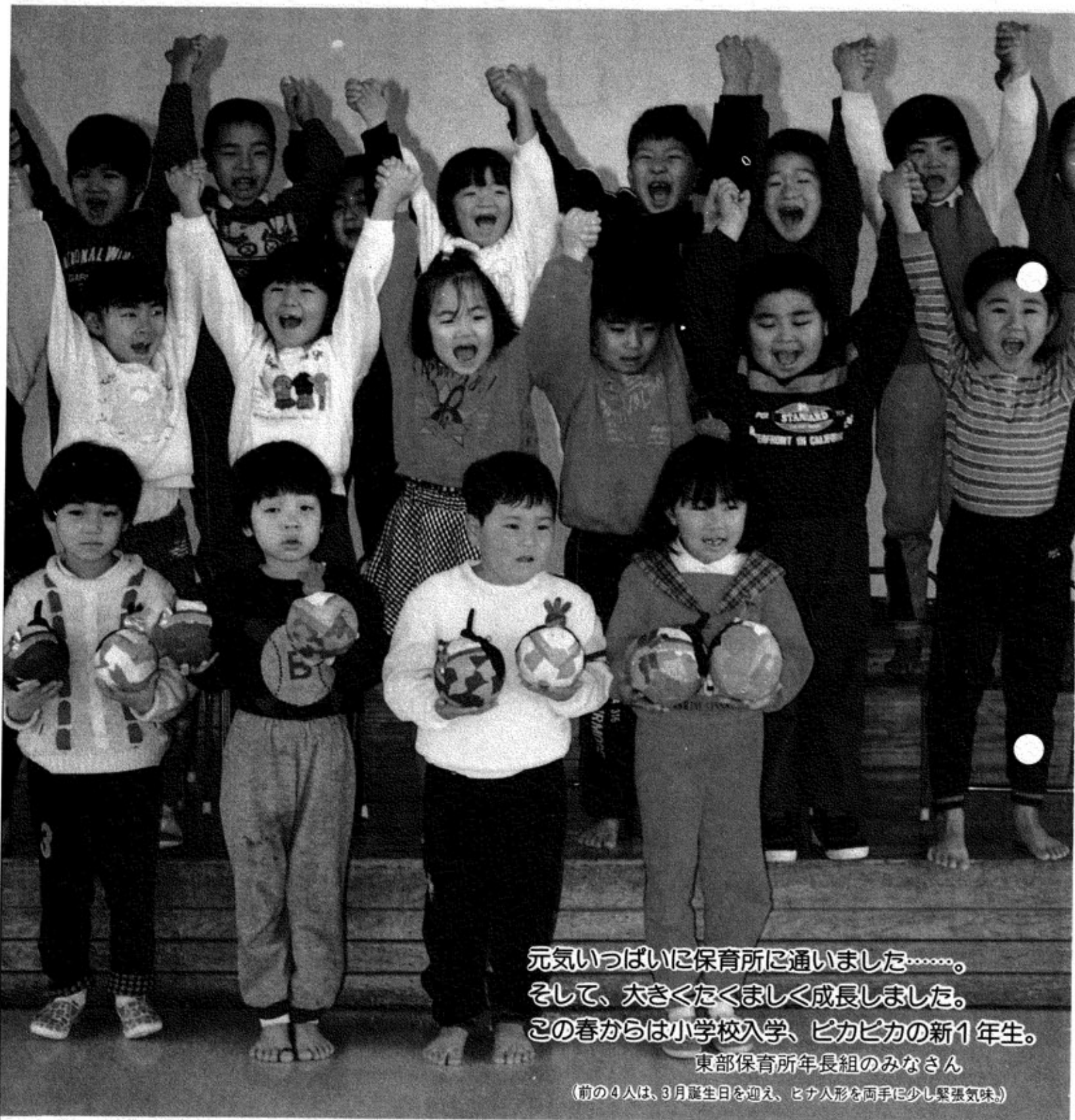


広報 かわぐち

発行 新潟県川口町長 青柳 弘
編集 川口町役場 総務課
(〒949-75 ☎0258代89-3111)



元気いっぱい保育所に通いました……。そして、大きくたくましく成長しました。この春からは小学校入学、ピカピカの新1年生。東部保育所年長組のみなさん
(前の4人は、3月誕生日を迎え、ヒナ人形を両手に少し緊張気味。)

「家族旅行村」がまもなく完成!!.....	2~3	文化財の防火訓練.....	10
知事と県民との対話.....	4~5	東京からの便り.....	11
県読書感想文コンクール.....	6~7	衆議院議員総選挙結果.....	12
スポーツコーナー.....	8~9	お知らせコーナー.....	13~14

捜査活動にご協力を!!

指名手配犯人は、意外に身近な所で生活しています。ある方から「近くの寿司屋に貼ってある指名手配のポスター写真にどことなく似た人が近くに住んでいる」との情報寄せられ、早速、捜査した結果、その男は、三年近くも逃亡を続けていた凶悪な犯人であることが分かり、逮捕することができた例もありました。

このように、テレビやポスター等で見かけた指名手配の犯人のことや、犯行現場にいる犯人を目撃したり、又は逃走していく犯人を見た場合など、犯罪について知っていることは、さ細な情報でも結構です。是非、積極的に通報するようにお願いします。

「事件かな?」と思ったら

一一〇番通報を!!

県警では、県下全域(佐渡、粟島を除く)の一一〇番通報を本部通信指令室で集中受理

固定資産課税台帳 3月1日~3月20日 台帳縦覧

あなたの財産をお確かめください

平成2年度の固定資産(土地・家屋・償却資産)課税台帳を次のとおり縦覧に供します。お確かめください。

- 期間 3月1日(木)~3月20日(火)の20日間
- 時間 役場の執務時間内
- 場所 役場総合窓口

バイクなど軽自動車「廃車」手続きはお済みですか

軽自動車は、毎年四月一日現在の登録名義人に対して課税されます。軽自動車(バイク・耕運機・軽トラック等)を廃車したり他の人に売ったりして、名義の変更をしていないものがありましたら、早めに手続きを済ませてください。なお、廃車手続きは、役場総合窓口で、印鑑を持参してください。

身体障害者に対する「佐渡汽船運賃・料金」が割引になりました

- ◆ 割引対象航路
 - ・新潟 ー 両津
 - ・直江津 ー 小木
 - ・寺泊 ー 赤泊

対象者	利用形態	割引となる人	割引となる運賃・料金	割引率
第1種 身体障害者	単独で利用する場合	本人	2等運賃、ジェットフォイル運賃	50%
	介護人とともに利用する場合	本人 介護人	2等運賃、特2運賃および座席指定料金、1等運賃、特等運賃、ジェットフォイル運賃	50%
第2種 身体障害者	単独で利用する場合	本人	2等運賃、ジェットフォイル運賃	50%

注 第1種身体障害者、第2種身体障害者の区分は、旅客鉄道運賃の割引の障害区分と同じ。

就学援助制度について
小中学校の児童、生徒にかかる学費を援助する制度があります。学用品費、修学旅行費、医

人口	6,472人	平成2年3月1日現在
男	3,156人	
女	3,316人	
世帯数	1,514戸	

療費、給食費等にお困りの家庭に対し、町が援助を行います。平成2年度に希望をされる方はご相談ください。相談先 教育委員会 学校、民生委員

観光レクリエーション地区施設整備事業

「家族旅行村」がまもなく完成!!

二つの国・県補助事業を導入

運輸省の観光レクリエーション地区施設整備事業と、県の地域バイタリティ育成事業の二つの国・県補助事業を導入して、整備が行われている「家族旅行村」が、間もなく完成します。

家族旅行村は

家族旅行村は、年々活発化する観光レクリエーションに対するニーズに応えようと、国がその整備を推進してきたもので、昭和六十一年度に、当町がその指定を受け、県内では初めて導入された事業です。

また、観光レクリエーション活動は活発化・多様化しており、なかでも家族旅行の伸びは著しく、美しい自然の中で、家族が一緒に手軽な観光レクリエーションを楽しみながら、しかも安価で健全な家族旅行ができるような施設の整備を図り、そして楽しみながら保養するというリゾート基地としての役割も持っています。

恵まれた自然

交通の便を生かし

こうした中で、町は家族旅行村の整備にあたって、恵まれた自然と交通の便を生かし、全国でも数少ない本格的な「オートキャンプ場」をはじめ「ファミリーゴルフ場」、「ローラースケートロード」、「クロスカントリーコース」、そして、野外コンサートや五万人集会ができる「芝生広場(ピクニック緑地)、絵になる「モニュメント」に、無料で休憩できる「レストハウス」など、子供からお年寄りまで楽しめる多彩な施設が計画され、その整備が着々と進められてきました。

現在、ピクニック緑地の建設が行われており、これが完成すると、待望の家族旅行村が誕生します。総事業費は約四億七千万円で、施設の概要は次のとおりです。

家族旅行村の主な施設

- **オートキャンプ場** (敷地面積2ha)
20サイト (1サイト100㎡) (野外卓・野外炉・炊事場・便所・駐車場)
ファイヤーサークル(400㎡) 2カ所、園路W=3.5~4.5m L=445m
管理舎 木造二階建1棟 延面積116.81㎡ [シャワー室6室]
- **ファミリーゴルフ場**
ショートコース 18ホール バー54 (ナイター照明9ホール)
散水設備一式
- **ピクニック緑地**
エントランス広場 7,000㎡ 青空音楽広場—水上ステージ—
ファミリー広場 70,000㎡ 休憩施設—棟屋1棟
ドングリ池 4,000㎡ 園路W=2.0~3.0m L=900m
モニュメント (シンボルタワー) H=15m 1基
駐車場 (50台収容) 遊具一式
- **水処理施設**
給水施設及び汚水処理施設一式
- **遊歩道**
ローラースケートロード (W=3.0m L=500m)
展望台 1カ所
- **管理棟**
レストハウス 鉄骨造一階建 1棟 延面積150㎡
トイレ 鉄筋コンクリート造一階建 1棟 延面積40㎡



▲ オートキャンプ場



▲ ローラースケートロード

野外活動の場づくり 「野外学習のむら」が実現

そして、この家族旅行村の施設と、既に整備されている「総合運動公園」のスポーツ・レクリエーション施設や、宿泊・休養・研修施設を備えた「サン・ローラ川口」などが一体となり、美しい自然の中で家族ともども、自然と人間とのふれあひから、人間と人間

とのふれあひに移行できるような、野外活動の場づくり、すなわち野外学習のむらが実現することとなります。

リゾート基地の核として

また、この野外学習のむらは、町が目指すユートピア(理想郷)「滞在型家族旅行村」の核の一つでもあり、これの完成により、一大リゾート基地建设へ向かって前進することとなりました。

オート

キャンプ場に

四千人が訪れる

なお、昨年の春オープンした「オートキャンプ場」に、約四千人が訪れた。隣りの小千谷市や長岡市から、また、東京や埼玉をはじめ、首都圏からも大勢訪れ、また会社や事業所、町内会のレクリエーションに家族ぐるみで訪れる

など、キャンプを楽しみながら自然を満喫し、家族や仲間同志のコミュニケーションを図り、リフレッシュするなどシーズン中は家族連れや若者で賑わった。

ファミリー

ゴルフ場に

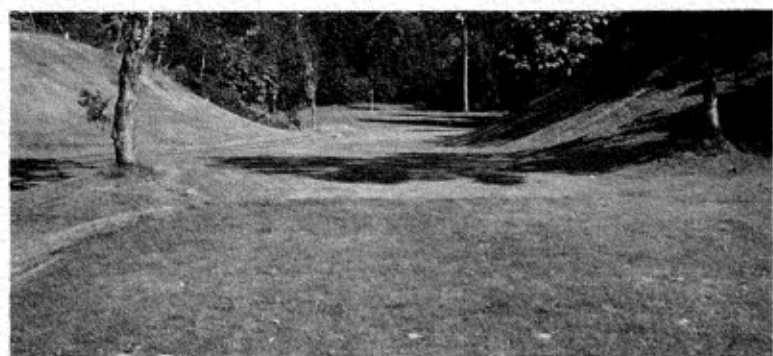
一万六千人

また、同時にオープンしたファミリーゴルフ場には、パースのショートホールの手軽さや、安い料金に適当なアンダレイションなどにより人気は上々。シーズン中約一万六千人を超える利用者が訪れた。また、ナイター設備も完備されており、早朝、夜間ゴルフにも人気が集まり、プレーを楽しんだ。

活力と魅力のある

町づくり

この家族旅行村は、観光基地の整備を図り、観光地づくりによる、新しい町づくりの一つでもあります。観光の振興を図り、活力と魅力のある町づくりに向けて邁進しようとしています。



▲ ファミリーゴルフ場



▲ 観光レクリエーション地区施設整備事業「家族旅行村」ピクニック緑地の建設が現在進められている。

発言者の要旨	知事回答要旨	担当部局
●魚沼のコシヒカリが高い評価を受けているので、県も転作面積の傾斜配分をしてほしい。	■前期対策における配分は国全体で3割となっているが、本県は2割となっており、傾斜配分を受けている。また、県内においても地域の実情を踏まえて傾斜配分しており、魚沼地域は1割位となっており、傾斜配分には今後とも努力をしたい。後期対策にあたって農林水産省に対し「良質米生産県としてこれ以上の配分は困る」と要望してきたが、新聞報道にあるように3年間は現状に据え置くこととなった。今後とも良質米生産県の立場を強く国に主張していく。	農林水産
●米の政府の買い上げ限度数量を増やしてほしい。	■転作面積に見合う限度数量を配分しており、毎年秋に調整もしている。大体の要望には応えられたと思う。	農林水産
●魚沼米への価格差を導入してほしい。	■自主流通米は一定限度の中で価格差があり、国も消費に見合った価格設定ということで努力をするということであり、もう少し国の動きを見てまいりたい。	農林水産
●農業の後継者育成、花嫁問題をお願いしたい。	■嫁対策は個人対個人の問題で、行政がどこまでタッチするのか非常に難しい問題だ。県も農林水産部を中心に、来年度の施策の中で検討している。県は農村地域の環境整備や、農業を中心とした地場産業に力を入れていくことも対策の一つと考えている。市町村とも協力し、来年度以降検討したい。	農林水産
●減反面積が変更されることがないようにしてほしい。	■後期対策として3年間据え置くということだが、その年の作柄状況によっては変更という話もあり、これからは良質米生産県としての立場を主張していく。	農林水産
●他用途利用米の価格や検査について検討してほしい。	■他用途利用米の検査は食糧事務所が行っており、検査基準の緩和はなかなかむずかしい。	農林水産
●農地の高度利用で、集団転作としてソバをつくっているが、収穫に適した農業機械の導入をお願いしたい。	■農業機械の普及には、県も補助している。機械については助成措置があるので相談してほしい。ソバ用の機械としてはアタッチを取り付ける機械があり、県の補助事業として導入している市町村もあり、農政事務所に相談してほしい。	農林水産
●リゾート、スキー場、ゴルフ場開発に伴う自然環境保護について県としての基準、指導はないのか。	■環境影響評価に基づき、開発許可の審査をしている。審査に当たっては、一定の開発指針をつくり、これに基づき開発を進めてもらうことになる。また、大規模開発については県と市町村、あるいは業者との協議会をつくり、自然との調和を考えて開発に当たっている。	企画調整
●高齢者対策としてソフト、ハードの両面で、県はどう考えているのか。	■在宅福祉については家庭奉仕員の増員、ショートステイ事業の拡大と市町村と協議しながら進めていきたい。特養ホーム増設についても国の予算状況を見ながら、できるだけ需要に応じたい。また、生きがい対策として、雇用の場の確保、高齢者大学を開設して、生涯学習の場を広げていきたい。	民生
●大学進学率が最低だが、県立の四年制大学を作ってほしい。	■進学率が低い理由としては県民の実学志向、女子の進学率の低さ、大学収容率の低さが考えられる。「大学等高等教育に関する懇談会」で有識者から意見を伺っており、これに基づき平成3年度以降、国立大学の関係は文部省に要望し、私大誘致には県が努力していきたい。県立女子短大の拡充は、懇談会の意見を聞き対応したい。	教育
●農山村地域の若者の国際交流についてどう思うか。	■青年団関係者、農業関係者、婦人の方々など、海外研修を実施するなど県としても色々やっており、今後とも若い方々の海外研修の機会を増やしたいと考えている。	総務
●先端技術者を育成する工業高校を新設できないか。	■県民の要望はむしろ普通高校志望が多いので、新たな職業高校の新設は難しいのではないかと。先端技術であれば、大学レベルの話にもなるので、新潟大学や長岡技術科学大学の充実を考えていかなければと思っています。	教育



▲「知事とのふれあいトーク」11月17日 小出会場で

「ふれあいトーク」
発言要旨まとめ

去る十一月十七日小出町で開かれた「知事とのふれあいトーク」における発言要旨が、このほどまとまり県（県民広報課）から送付されてきました。以下、その要旨について、一部を紹介いたします。

発言者の要旨	知事回答要旨	担当部局
●まだまだ不足している精神薄弱者の生涯施設を建設してほしい。	■精神薄弱者の生涯施設は、現在国の制度には組み入れられていないが県は既存の更生施設、授産施設等を当面活用していき国にも要望していきたい。福祉全般は、医療も含め総合的に検討していくので、時間を貸してほしい。	民生
●義務教育における特殊学級の開設や養護学校の高等部を早く作ってほしい	■三条の月ヶ岡養護学校を将来高等部にするよう検討している。特殊学級も地域の実状に応じて開設は可能と思われるので、市町村の教育委員会と相談してほしい。	教育
●障害者の自動車税免除や交通料金の割引を、国の施策の中で考えてもらいたい。	■自動車税については、県では一定の障害者等に免除しているが、全国一律の基準で行っているものであり今後の検討課題としたい。	総務
●特別養護老人ホームの開設について、魚沼にもう一ヶ所新設してほしい。	■現在県ではこの12月をめどに、特別養護老人ホーム整備計画を立てることとしているが、毎年3ヶ所、300床作っており国でも来年度は全国で8,000床から1万床を整備したいとし、予算要求をしている。他の地域からの要望があり、北魚沼からも建設計画が示されれば、県も考えていきたい。	民生
●福祉の充実が叫ばれているが、福祉最前線に働く、若くて有能な職員を養成するための教育機関を県内に誘致してほしい	■県としても今後の福祉の充実を図る上で、人材の育成、確保は重要であり、努力している。県内には2ヶ所福祉関係の養成学校があり、人材の育成に努めているが、今後とも福祉のニーズに応じて教育施設の充実にも努めたい。また、ボランティア活動のための基金もあり活用してほしい。	民生
●精神障害者の働く場、住む場、例えば援護寮や福祉ホームを魚沼地方にもほしい。	■精神障害者の関係は環境保健部の所管で、元年度においても援護寮や福祉ホーム、通所授産施設の整備には補助している。専門の授産施設については、環境保健部に伝えたい。魚沼地域に立地する可能性があるか、十分検討させたい。	環境保健
●県が管理する中小河川の堤防除草については、維持管理上問題もあるので予算計上してほしい。	■県管理の河川は約4,800kmあり、全て除草はできない。堀之内町では地元の協力で除草しているようだが、今後とも地元の協力を得ながら予算面でも努力していきたい。	土木
●生活道路の除雪対策や流雪溝の設置について、予算を創設してほしい。	■流雪溝は、基幹道路には国庫補助があり、そのほか県単の助成制度もあるので町とよく相談してほしい。	土木
●造林事業の単価アップをお願いしたい。	■単価の決定は、県内の実勢価格を調査してこれをベースとして、国の予算額との関係の中で、国と協議の上決めている。これからは景気動向を踏まえ実情に合った価格にするよう国に要望していく。	農林水産
●造林の保育期間の延長をお願いしたい。	■保育期間については、一般地域あるいは林業振興地域といった地域指定に応じた期間延長がなされている。このためできるだけ有利な地域指定がなされるよう、国に働きかけていく。	農林水産
●スギの造林に適さない魚沼の山に、ブナあるいはトチの木といった植栽をお願いしたい。	■広葉樹の見直し、複層樹林の造成など色々手法も検討されており、これらを十分活用していきたい。	農林水産

**知事と
県民との対話**

読書感想文 県コンクールで

関拓也くん(川口中)が優秀賞に輝く

新潟県中学校読書感想文コンクールで、川口中学三年の関拓也君が優秀賞に輝きました。

このコンクールは、定められた課題図書を読み、その感想を作文するもので、拓也君は、「きらめきのサフィール」という本を読んで作文しています。

母親にとって生れてほしくなかった、ココロという名の子供を主人公とする内容に感動、それを自分の体験と重ね合せ、幸、不幸を「光と影」に表現してうまくまとめられています。

拓也君の作文は、中越地区代表として県審査にまわり、優秀賞に認められたものです。また、二年生、保科峰子さんの作文も、県コンクールで入選となっています。

●優秀賞
「きらめきのサフィール」を



川口中3年 関拓也くん

「きらめきのサフィール」を

読んで
「光」と「影」
「幸せ」と「不幸せ」……
これから生まれてくる命に罪はない。まして、親は、それを拒否することはできない。生命の誕生は、命のきらめきなのである。

これからも……
きらめきながら。

つながった両親よりも、ただの通りがかりの人の暖かさがココロをやさしく包んだ。若いおまわりさんの純粹な心には、ココロが「サフィール」へと旅出していくきらめきが見えたのだ。そして、その心は、長いようでいて短かった旅を、遠くから見守ってくれていたのだった。

ココロは、自分の心の国、「サフィール」の中で、今まで彼が心に閉じ込めていた弱い心の分身達と戦う。そして、自分自身に勝った。長い夢を見ていたように公園で目覚めた時、彼のくちびるには言葉が戻っていた。本当の友情や真の勇気を知り、そして人の心の暖かさを知ったココロは、まるで僕のような気がした。

自分がどんなに「影」の人間であっても、生きていること自体が一人一人にとっての、「光」なのである。だから、闇に追いやられた人は、自分の心の中の世界を大切にし、勇気を持って「光」の世界に来てほしいと思う。この物語の最後にあった、「人はだれでも心の中では主人公で、一番大切な存在」という言葉を信じて。



主人公のココロは、母親にとって生まれてほしくない子供だった。生まれてから母親に抱かれた記憶もなく、父親からも邪魔者扱いされる。「こんな子、生まれてこなければよかった。」と、一番甘えたい母親に言われる。

心の中にグサグサとささったつるぎの重みで、ココロは言葉を失ってしまった。安らぎの場所であるはずの家も、楽しいはずの学校も、全てがココロに向かつてつるぎを振りかざすのだ。まだ小学校六年生のココロに、このようなつらい運命を与えたのが、他ならぬ両親であったことが僕には一番の衝撃だった。

だが、僕には彼が弱い人間だとは言えない。なぜなら、僕にもココロに少し似た経験があるからだ。

その時の自分には、周りすべてが「光」で、僕だけが「影」だった。みじめな気持ち、一生忘れることのできない屈辱感。その時にいじめをする人いや広く言えば普通の人間一人一人は、この物語で言えば「光」なのであって、弱者・例えばいじめを受ける被害者は

「影」なのである。それは、まさに、「光があれば影がある。幸せな人がいれば不幸な人がいる。」この言葉どおりである。僕は、それは現在の人間社会をうまく言っているかと思った。今は「光」である人間が多く、「影」を見ることが忘れていっているのではないだろうか。このことは、普段歩いている時ですら自分の周りにできる影のことを忘れ、自分の事だけを考えるのに似ている。

きらめきを
持ち続け
「サフィール」へ

ココロの周りの人間達を見てみると、自分達の都合ばかりを優先する両親、そして、彼をいじめめる級友達と、みんな光を浴びている人間ばかりである。光をさえぎられ、闇の中で手さぐりで出口を捜していたココロ。だが、言葉を失い、死んだような日々の中で、彼は彼自身の存在を一つの真実として生きていた。

僕自身がそうだったように、彼も心の中のきらめきを失くしてはいなかったのだ。もし

明るい家庭づくり作文コンクール

優秀賞 十一編
佳作 二十五編

町の教育委員会と教員協議会は、小中学生を対象に「明るい家庭づくり」を内容とする作文コンクールを行い、小学の低、中、高学年と中学に区分して優秀賞十一編、佳作二十五編を選び、このほど入賞者に賞状を贈りました。本年は特別賞の該当作品はありません。

このコンクールは、家庭のようす、親の仕事、自分と家族とのかわり、親と子のふれ合いなどをテーマに募集したもので、作文を書くことにより、家庭生活のあり方や家庭における自分の役割について考え、明るい家庭づくりに参加する態度を養ってもらうことをねらいとしています。教育委員会では、このコンクールの入賞作品を作文集にまとめて、関係者と学校に配布します。

明るい家庭づくり 最優秀賞を受賞

喜多村 誠くん (川口小二年)

県の明るい家庭づくり作文コンクールで、喜多村くんの作品が最優秀賞を受賞しました。なお、紙面の都合上、来月号でご紹介いたします。

北魚書き初め展

特別賞に

星野博之くん(川口小)

第十回北魚小中学生書き初め展は、二月中旬小出町で開催され、忘募作品二十五校・二千六百点の中から入賞の約五百点が展示されました。作品は力作ぞろいで、二日間にはわたって審査がなされ、特別賞十六点、特選十二点その他の入賞が決まり、当町からは、特別賞の北魚沼郡町村議会議長会賞に、川口小学校六年、星野博之君の作品が選ばれました。

明るい家庭づくり 優秀賞入賞者

おとうさん	また	おてがみあげるね
わたしのおてつだい	わたしのジャッキー	弟の病気
おふるあがりの体力づくり	もらわれていったゴン	私は日曜日のコック長
母と私の交かん日記	父の入院	ある日の夕方
祖母のこと		

おとうさん 泉水小1年
また 泉水小1年
おてがみあげるね わたなべみどり
わたしのおてつだい 川口小2年
わたしのジャッキー 田山小2年
弟の病気 川口小3年
おふるあがりの体力づくり 泉水小4年
もらわれていったゴン 木沢小5年
私は日曜日のコック長 川口小6年
母と私の交かん日記 川口小6年
父の入院 川口中1年
ある日の夕方 川口中2年
祖母のこと 川口中2年

郡小学校スキー大会

川口勢大健闘！三人が優勝



覚張祐樹くん(川口小) 桜井祐一くん(田麦山小) 大淵貴幸くん(田麦山小)

郡小学校体育連盟等の主催で行われた第二十一回郡小学校親善スキー大会は、広神西小学校と小出スキー場を会場

に距離競技と回転競技に分れて、郡内の五、六年生六百二十人が参加して実施されました。川口からは、四校で八十

貴幸君の三人が学年別で優勝し、その他各校の男女選手が各種目やリレーで上位に入賞しました。

スポーツの町宣言



2月15日 郡小学校新善スキー大会 日頃の練習の成果を発揮(広神村にて)



郡小学校スキー大会入賞者

距離(男3km・女2km)	男子	1位 覚張 祐樹(川口)	2位 小林 美佐(川口)	3位 山田 泰子(川口)	4位 丸山麻美子(泉水)	5位 小西 広孝(川口)	6位 山田 泰子(川口)	7位 丸山麻美子(泉水)	8位 小西 広孝(川口)	9位 山田 泰子(川口)	10位 丸山麻美子(泉水)	11位 小西 広孝(川口)	12位 山田 泰子(川口)	13位 丸山麻美子(泉水)	14位 小西 広孝(川口)
	女子	1位 小西 広孝(川口)	2位 山田 泰子(川口)	3位 丸山麻美子(泉水)	4位 小西 広孝(川口)	5位 山田 泰子(川口)	6位 丸山麻美子(泉水)	7位 小西 広孝(川口)	8位 山田 泰子(川口)	9位 丸山麻美子(泉水)	10位 小西 広孝(川口)	11位 山田 泰子(川口)	12位 丸山麻美子(泉水)	13位 小西 広孝(川口)	14位 山田 泰子(川口)
	男子	1位 桜井 祐一(田麦山)	2位 大淵 貴幸(田麦山)	3位 佐藤 秀明(二年)	4位 大淵 竜也(二年)	5位 佐藤 秀明(二年)	6位 大淵 竜也(二年)	7位 佐藤 秀明(二年)	8位 大淵 竜也(二年)	9位 佐藤 秀明(二年)	10位 大淵 竜也(二年)	11位 佐藤 秀明(二年)	12位 大淵 竜也(二年)	13位 佐藤 秀明(二年)	14位 大淵 竜也(二年)
	女子	1位 大淵 貴幸(田麦山)	2位 佐藤 秀明(二年)	3位 大淵 竜也(二年)	4位 佐藤 秀明(二年)	5位 大淵 竜也(二年)	6位 佐藤 秀明(二年)	7位 大淵 竜也(二年)	8位 佐藤 秀明(二年)	9位 大淵 竜也(二年)	10位 佐藤 秀明(二年)	11位 大淵 竜也(二年)	12位 佐藤 秀明(二年)	13位 大淵 竜也(二年)	14位 佐藤 秀明(二年)

郡中学校新人スキー大会 大回転で優勝

郡内の中学一、二年生を対象とする新人スキー大会が開催され、当町勢は、大回転競技で一年の佐藤秀明君が優勝するなど活躍しました。入賞者は次のとおり。

大回転	優勝 佐藤 秀明(一年)
回	四位 大淵 竜也(二年)
距離	四位 大淵 竜也(二年)
男子リレー	三位
女子リレー	六位

来年の魚沼国体へ

夢つなぐ

第四十五回国体スキー競技会が、二月二十日から青森県大鰐町あじやら運動公園で、二千人余りの選手役員が参加して開催され、本県選手団に選ばれた当町出身の二選手が共に健闘して上位に入賞し、来年の本県魚沼国体への夢をつなぎました。

出場した選手は、川口四の松崎敦さん(小一郎さん長男)と、川岸の片山登さん(喜一さん長男)の二人。

松崎選手は複合競技の成年一部Bに出場して、前半のジャンプは七位につけて、後半の距離でがんばって堂々と三位を獲得しました。片山選手は、距離競技成年二部十五、六位に入賞し、雪不足でコース変更の中を健闘して六位入賞をほたしました。

国体出場十一回目

松崎さん

松崎選手は国体出場十一回目。昨年は同種目で優勝している実力の持ち主で、かつて高校、大学では数々の活躍をしています。現在は妙高ハイインパレススキー場勤務。

インターハイ

等で活躍

片山さん

一方片山選手は、小千谷高校時代は複合競技を得意とし

国体スキー

町出身二選手が

そろそろって入賞!

複合三位

松崎 敦さん (川口四)

距離六位

片山 登さん (川岸町)



てインターハイ等で活躍、国体も二回出場の経験を持ち、のちに国鉄マンとなって川口駅や長岡駅等で勤務し、現在はJR東日本所属、上野駅勤務。



歳時記

残雪の片隅に、そつとのぞく小さな緑。ふきのとうです。手を触れてみると、周りの土のほのかなぬくもりが感じられます。ふきのとうは、春の訪れを告げる「使者」です。

ふきのとう

ふきのとうは、ふきの新葉に先駆けて花茎が出てくるので、ハウス栽培のふきが回る前に、まずふきのとうが出荷されるわけです。ふきのとうの食べ方は、天ぷら、酢のもの、ふきのとう味噌などいろいろあります。ふきのとう味噌をつけた焼きおむすびなどは、おふくろの味でもあり、ひなびた郷土料理として、観光客にも人気があります。



山菜が注目され始めたのは、旅行ブームが起った昭和四

十年代の終わりに。しいたけなどのほかに、ふき、たらの芽、わらびなどが栽培されるようになりました。ふきのとうは、ふきの新葉に先駆けて花茎が出てくるので、ハウス栽培のふきが回る前に、まずふきのとうが出荷されるわけです。

文化財の防火訓練

西倉地藏堂で

文化財の防火訓練を、当町では初めての試みとして、西倉地藏堂で行いました。西倉地藏堂には、町文化財指定の地藏菩薩座像があり、この大切な文化財を火災から守るためのこの訓練は、小千谷地域消防署川口出張所と地元関係者の協力によって、文化財防火デーに行われたもので、折からの寒波による雪の中で、ローソクが倒れて出火したことを想定に、通報、出動、文化財の搬出、放水などを行い、地元関係者によって消火器を使って初期消火の訓練も行いました。



▲雪中の放水となった「地藏堂」



▲地元の人たちも参加して「消火器」訓練

二月は「春の全国火災予防運動」

春の全国火災予防運動が、三月一日から七日までの一週間行われます。

被害者の半数近くが高齢者

一昨年の昭和六十三年に火災のために命を落とした人は全国で二千百十六人を数え、戦後最高でした。このうち放火自殺者を除いた火災による死者は、二千百六十六人です。その半数近くが高齢者で、これからの高齢化社会に大きな問題を投げかけています。また、赤ちゃんや病人、体の不自由な人の死亡例もわずかに増えていて、高齢者の死亡例を加えると約五五％にもなっています。こうした被害のうち、最近とくに増えてきているのが、天ぷらによる火災です。

増える天ぷら油火災

何が原因の火事であっても、火が小さいうちに消し止めれば被害も少なくて済みます。火災の原因に応じた処置を覚えておくことが大切です。天ぷら油の場合、次のようにして火を消しましょう。

■火が小さいとき

ガスコンロの元栓を閉めてガスの火を消し、火がついている鍋にふたをして空気を遮断します。このとき、すぐふたととると、また火がついてしまうことがあるので注意してやさしい。

■火が大きくなったとき

消火器で火を消してください。そのためには、台所には家庭用の消火器を備えておきたいものです。また、火を消した後、二次火災を起こさないために必ず元栓を閉めるようにしましょう。

天ぷら油火災の場合、油の温度が上がるまで、他の用事をしてしたり、電話にでたりして

東京からの便り

東京の大学生(写真)から、便りが届きました。

高倉渉さん(専修大学文学部四年)は、卒業論文のテーマに地方の活性化、都市と地方の交流などを取り上げ、その中で、川口町と狛江市との「ふるさと友好都市」の提携

「川口町を訪れて」

専修大学文学部四年 高倉 渉さん



私は昨年、大学の卒業論文の作成のため川口町を訪ねました。私は以前から、地方の活性化、都市と地方との交流について興味を持っていました。そして、私が下宿してい

を知って、度々私共の町を訪れ、熱心に調査、研究を行っていました。このほど、高倉さんから、卒論もでき上がり無事に卒業できました。そして、研究にあたっての貴重な体験を、社に出ても生かせるよう頑張るって生きたいと喜びの声を決意をしたため、次のような便りを送ってくれました。

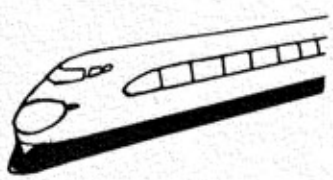
「川口町と、この川口町とが「ふるさと友好都市」を提携していることを知り、本腰をいれて調査、研究をすることにしました。川口町の「生涯学習フェスティバル」を見学させてもらったり、狛江市民まつりや、狛江市のわんぱく駅伝大会での川口町の方々の活動を肌で感じる事ができました。そして、多くの方々の御協力により、卒業論文をまとめることができ、今年の三月、なんとか大学を卒業することができました。

「さて、今回調査をしている中で、人から、「どうですか、川口町は?」という質問をたびたび受けました。それに対して、私はいつも困ってしま

「人がなにかを好きになるということは、それは決して言葉では表せないものではないでしょうか。例えば、誰かに「あなたは友達の○○さんのどこが気に入ったのですか」という問いかけに対し、どう答えることができるでしょうか。はたして簡単に「心が温かいから」や「かつこいいから」と一言で言えるのでしょうか。もっとその人が持っている「人をひきつけるなにか」というものがあるのではありませんか。川口町にはその「人をひきつけるなにか」があります。「なんとなく心安らぐ町」、「また行ってみたい町」、「そんな川口町を私は「ふるさと友好都市」をきっかけに知り

「人がなにかを好きになるということは、それは決して言葉では表せないものではないでしょうか。例えば、誰かに「あなたは友達の○○さんのどこが気に入ったのですか」という問いかけに対し、どう答えることができるでしょうか。はたして簡単に「心が温かいから」や「かつこいいから」と一言で言えるのでしょうか。もっとその人が持っている「人をひきつけるなにか」というものがあるのではありませんか。川口町にはその「人をひきつけるなにか」があります。「なんとなく心安らぐ町」、「また行ってみたい町」、「そんな川口町を私は「ふるさと友好都市」をきっかけに知り

「人がなにかを好きになるということは、それは決して言葉では表せないものではないでしょうか。例えば、誰かに「あなたは友達の○○さんのどこが気に入ったのですか」という問いかけに対し、どう答えることができるでしょうか。はたして簡単に「心が温かいから」や「かつこいいから」と一言で言えるのでしょうか。もっとその人が持っている「人をひきつけるなにか」というものがあるのではありませんか。川口町にはその「人をひきつけるなにか」があります。「なんとなく心安らぐ町」、「また行ってみたい町」、「そんな川口町を私は「ふるさと友好都市」をきっかけに知り



個人事業者の方々へ 手続きはお早めに

消費税の確定申告と納税の期限 **平成2年4月2日まで**

個人事業者の消費税の確定申告と納税は、平成2年4月2日までとなっています。

個人事業者の方にとっては、今回が初めての申告ですので、早めに手続きをすませたいものです。



消防記念日

超える消防団員 一百万人を

三月七日は「消防記念日」です。平成元年四月現在、自治体消防の中心となる消防団員は、百万人を数え、地域の防火活動に大きな役割を果たしています。住民のみならず、こうした地域の防火活動にできるだけ参加して、「自分たちの地域は自分たちで守る」という連帯意識をもちましょう。

天ぷら油を捨てる時必ず冷えてから

天ぷら油を凝固剤で固めて捨てる場合には、油が完全に冷えてから捨てるようにしましょう。熱いまま、「ゴミ箱などに捨てる」と、発火することがありますので注意してください。

鍋から離れている間に火が出してしまう例がほとんどです。「その場を離れないこと」が絶対必要です。どうしても離れなければならないときは、「必ず火を止めて」用事をすませることが大切です。

衆議院議員 総選挙の結果

— 川口町投開票 —

二月十八日(日)執行された、衆議院議員総選挙における、川口町の投票の結果は次のとおりです。

候補者氏名 得票数
(氏名揭示順)

桜井 新	四九〇
ほしの行男二	一九八
坂上とみお	六〇一
丸山久明	四一
めぐろ吉之助	三〇一
村山達雄	一一八
もろさと正典	一一五
西川 攻	六
渡辺秀央	五〇〇



区分	有権者数	投票者数	投票率
男	2,279人	2,115人	92.80%
女	2,476人	2,283人	92.21%
計	4,755人	4,398人	92.49%

有効投票数	4,370票
無効投票数	28票
投票総数	4,398票

少年の非行防止 「明るい家庭づくりの五か条」

刑法犯全体の 五〇%が少年

昨年の新聞紙上では、少年たちの非行問題が多く取り上げられました。数字の上でも、刑法に違反し補導された少年は、刑法犯全体の五〇%を超え、十二万人以上でした。

警視庁が少年の相談を受け付けているヤングテレホンコーナーには、少年たちの悩みが多く寄せられています。ここに寄せられる悩みとはさまざまですが、性的問題、異性関係の問題、友人関係の問題が上位を占めているという事です。

このほか、「心の健康」に関する相談がわずかですが増えました。たとえば、「シンナーは体にも心にも悪いと分かっているけど、仲間同士で集まるとやってみよう」「学校の中でも友人の間でもうまくいなくて……自分は駄目なんだらうか」といった悩みが多いといわれています。このように子供たちは、自分

自身の弱さを自覚しながら、立ち直りのきっかけを求めて、相談員に電話をかけてくるケースがほとんどです。

「心の疲れ」や 不安を軽くする

これからの進学・就職シーズンには、ますます子供たちの「心の疲れ」が大きくなるのが考えられます。子供たちのこうした不安を軽くしてあげられるのは「家庭」です。

子供たちの健やかな成長のため、明るい家庭づくりのポイントをいくつかあげながら考えてみましょう。

- **子供に信頼されていますか**
子供に限らず、信頼していい人の言うことは聞きたくないものです。さて、あなたは信頼されていますか。
- **子供の夢を知っていますか**
夢と希望は生きていくために欠かせない「栄養」です。子供

の将来のために多くのものを見せ、聞かせ、話し合うことが大切です。

● **子供の様子を見ていますか**
心や体の問題は、早めに発見して治療することが大切です。変調を見落とさないためにも、放任や無関心は禁物です。

● **両親の仲は良いですか**
両親の争いは、子供の心を傷つける最も大きな原因となります。また子供の信頼をなくし、反発を招くことにもなります。

● **家庭でくつろげますか**
心が疲れてくると、耐える力が弱くなり、問題を起しがちです。家庭は、学校などで疲れ傷ついたときの心をいやすオアシスでなければなりません。親はこのことをはつきりと自覚することが大切です。



信濃川テクノ・アカデミー

学生募集中!!

信濃川テクノ・アカデミーでは、現在学生を募集しています。地域産業の情報化の担い手に、社会人のみなさんや若い人たちの応募を、お待ちしております。

同校は、労働省が、不足している情報処理技能者の養成を図り、地域経済の活性化と雇用の開発を促進するため設置を進めているもので、昨年の四月、職業訓練法人「新潟

情報処理開発財団」を設立、コンピュータ専門学校として小千谷市に開校されました。現在多くの人が学んでいます。また、同校の卒業生に照準を合わせて、多数の企業が進出するなど、同校に大きな期待が寄せられています。

● 応募資格

高校卒業程度以上の学力を有する者。年齢制限はありません。(高校、大学新卒者その他、在職者、離職者をはじめ、一般社会人に広く門戸を開放しています。)

● 学科及び募集定員

- 情報ビジネス科(全日制二年) OAシステムコース 二十五名
- 業務システムコース 二十五名
- 情報システム科(全日制二年) システム開発コース 二十五名
- 制御システムコース

● 選考方法

- (一) 推薦入学
書類審査、面接
※ 社会人の方々の推薦入学には、事業主の推薦が必要です。
- (二) 一般入学
書類審査、適性検査、面接

● 選考料

一万円

● 学費

- (一) 入学金 十万元(初年度のみ)
 - (二) 授業料 六十万円(前後期分納)
- なお、詳細については次のところへお問合せください。

- 信濃川テクノ・アカデミー 入学ガイドホットライン ☎ 〇一三〇一四〇五〇七〇 (フリーダイヤル 無料)
- 住所 小千谷市上ノ山 四丁目四番二号

こんな目的をもって入校してみませんか。

- ◆ **美しい自然と豊かな文化のもとに花開く高度産業技術集積帯「信濃川テクノバレー」をはじめ各出身圏域をになう人材になろう。**
 - すでに本校の卒業生に照準を合わせて、多数の企業が進出していますし、参加団体の各市町村も期待しています。
 - 圏域には特定分野で世界的シェアを誇る企業も多数存在しています。
- ◆ **企業や自治体の期待にこたえ、即戦力となれる実力を身につけよう。**
 - 本校の授業は、1単位50分(2単位連続)で年間1240単位以上の実時数を確保し、第2種情報処理技術者の資格は勿論のこと、それ以上の資格と技能を修得することを目標にしています。
 - 企業や自治体からの派遣要員教育とともに、企業や自治体に対しての情報提供、システム開発、企業内研修等の支援も本校の業務であり、文字通り産・官・学一体の実践的教育を展開しています。
- ◆ **高度な技術を身につけると同時に大学・短大の卒業資格をとろう。**
 - 再び巡りくることのない若い時代の時間と余力を有効に生かして、欲ばった人生設計をするのも若い人の特権です。大学の通信教育は安価な経費、同じ年数で通学課程と同じ資格が得られる制度です。大学によっては、本校の併修生に対して利便を計るところがあります。
 - 通信教育を実施している大学・短大(法律、経済、情報処理関係のみ抜粋)。
法政大学(法・経)・慶応義塾大学(法・経)・中央大学(法)・日本大学(法・経・商)・近畿大学(法)・東洋大学(法)・大阪学院大学(商)・創価大学(法・経)・近畿大学短期大学部(商経)・産能短期大学(能率)・富士短期大学(経)

